

東日本大震災にあわれました皆様

このたび発生しました「東日本大震災」で亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様とそのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を願っております。

飯能老年病センター 院長 木川 好章、 職員一同

### 作業療法科紹介

## リハの風景 ~こんなことやってます~①



作業療法活動の中では、各病棟にて週 2~3 回程度の頻度で、「創作活動」の時間を設けています。手先を用いた活動を、「巧緻性の維持」「対人交流の促進」「余暇活動の充実、ストレス発散」「昔を回想し肯定的な感情を得る」といった事を目的に、小グループにて楽しく行っています。新年度を迎え、エントランスホールから続く廊下に、作品を新たに展示させていただいています。現在の展示作品は、5 月末までの展示予定となっておりますので、ご来院の際には是非御覧下さい。(作業療法士 八木 正樹)

写真の作品は 1 階に掲示してあります。

### 作業療法科紹介2

## 節電とリハ ~こんなことやってます~②

震災以降、当院では病院全体で節電に取り組んでいます。日々の作業療法活動では、暗い照明により患者様の不安を増長してしまわないよう、テイルームにて音楽をかけたり、人力のみでも楽しめるレクリエーションを提供出来るよう工夫したりしています。写真は、3 階病棟誕生会での出し物「ジェスチャーゲーム」の様です。

このような状況においても、患者様に安心して療養していただける環境づくりに取り組んで参ります。

作業療法士 八木 正樹



(プライバシー保護の為、写真は加工してあります)

### 桜の花見もまた



今年は残念ながら、恒例のお花見喫茶は中止となりましたが、桜は予定通りエントランスに運ばれ、鮮やかな香りと雰囲気をお届けしました。



### 編集後記

地震被害の規模は日が経つにつれ判明し、被災者の皆様のご苦勞や悲しみはテレビを見ただけで十分伝わってきます。自分に出来ることは何なのか、今一度考えています。